鷹南学園 コミュニティ・スクール委員会だより

令和３年度第２号　　発行日：令和４年３月１７日
発行責任者：鷹南学園ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｽｸｰﾙ委員会　会長　吉田 仁　　編集：同委員会広報部会

鷹南学園ＨＰ

皆さまの支えに感謝！

第５代学園長 中原小学校長 内藤和巳

何ごとも明るく前向きに考えられる人でありたいものです。しかし周囲に自分を支えてくれる人がいなければ、なかなかそういう気持ちにはなれないと思います。

何度も繰り返す新型コロナ感染症の波。ご家庭でもかなり疲れがたまってきているのではないでしょうか。学校においても出勤できない教職員がおり、担当教員以外が授業をし、オンラインの対応もするという厳しい状況が続いています。そういう中にあっても「子どもの学びを止めない」ために「できることをしていく」というのが本学園のスタンスです。そしてそれを可能にするのは、皆さまの理解と協力です。本紙に CS 委員会が実施した学校評価の結果が掲載されています。拝聴すべきご意見のほかにも、感謝や激励の言葉をたくさんちょうだいしました。大いに勇気をいただきました。ありがとうございます。

先日の CS 委員会では、新年度教育課程の審議が行われ、承認をいただきました。皆さまの支えを一層の推進力に変え、CS 委員会と一体となって令和 4 年度を実り多きものにしていきます。

地域の CS 委員会を目指します

CS 委員会会長 吉田 仁

令和３年度を振り返ると、コロナ禍が続く中、CS 委員会だけでなく、学校・地域の皆さまが伝統ある地域活動や子どもたちへのサポートを継続するため、さまざまなご苦労や工夫をされた年であったと感じております。

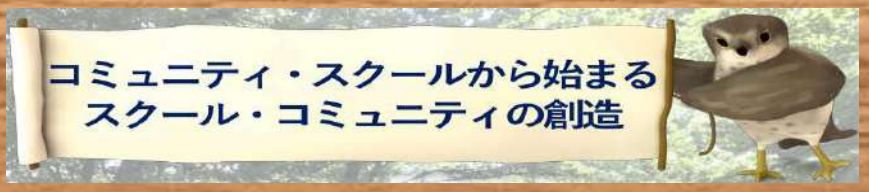
そのような状況にもかかわらず、学校や地域団体の皆さまからは、学校支援ボランティアや熟議など、CS 委員会の活動に多数のご協力をいただきました。ありがとうございました。

また、先日の令和３年度学園評価アンケートでは、多くの方から学園の活動に対して忌憚ないご意見をいただきました。結果と意見は学園の先生にお伝えしておりますが、より良い学園生活を作るためにどのような活動をするべきかの重要な情報として活用します。

CS 委員会は鷹南学園の運営に関して、意見を学園に伝える機関ですが、地域の人たちが情報を持ち合い、地域の活動がつながる場でもあります。

令和４年度は、皆さまのご意見も踏まえ、活動がつながるCS委員会になるよう、より活動を工夫します。皆さまのご支援を今後ともお願いします。

三鷹教育フォーラム開催！
全国コミュニティ・スクール研究大会IN三鷹 鷹南CSも参加しました！



11月6日（土）
オンライン開催

当日は、残念ながらオンライン開催になってしまいましたが、午前 10 時から午後４時までの長時間にわたり、フォーラムが行われました。

鷹南学園も、ホストタウンとして「地域の課題解決に資するコミュニティ・スクール」のテーマで、学園のこれまでのあゆみから地域関連、日ごろの活動・成果などの発表をしました。

↑↑
アーカイブはこちら

CS 漢検 PJ

1月30日（土）於：東台小

今年度の「みんなで漢検！」は、昨年度に引き続き縮小し、中原小・東台小の４・５・６年生と五中生のみ対象でした。

ちょうど新型コロナウイルス感染症が全国的に広がった時期。開催も危ぶまれましたが、プロジェクト内も今一度感染対策を徹底し、無事に開催することができました。

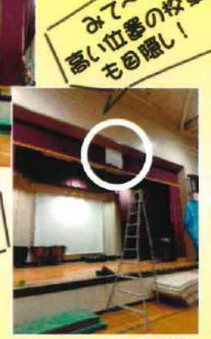
繰り越し受検対象になった皆さん、Ｒ４年度１学期にはご案内します。

受付の様子

漢検

高校受験などの取り組みとして定着しています！
身近な場所で受検できるのを活用ください！

CS 裏舞台



CS カレンダーPJ

「家庭で話題にしてもらえるカレンダーに」

昨年度から始まった学園カレンダープロジェクト。学園カレンダーとしてご家庭で重用いただけるものを目指して、プロジェクト活動してまいりました。

令和４年度版鷹南カレンダーは、新年度配布予定！
ご期待ください。

夏からカレンダー作りは始まった

CS 裏舞台

コンテンツ案
子どもの作品依頼
マップ作り
掲載情報絞り込み
ラフ案作成
各団体
スケジュール
編集
初稿
校正
完成

鷹南コンサート PJ

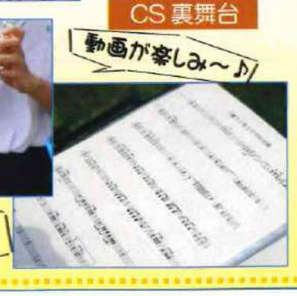
第 10 回鷹南コンサートオンライン配信予定！

期間限定公開ですのでお見逃しなく！（フェアキャストにてお知らせ）

コロナ禍で思うように練習ができず、発表の場も少ない中、子どもたちも指導されている先生方も大変だったと思います。その中、鷹南コンサートの配信に間に合うように、曲を仕上げてくださったり、編集していただいたり、感謝の気持ちでいっぱいです。

生の演奏を聴きたい気持ちはありますが、オンラインならではの楽しめる工夫もされています。

CS 裏舞台



<出演者>
◎中原小学校合唱団
◎東台小学校金管バンド
◎第五中学校吹奏楽部

ゲスト出演
◎野久尾智美（声楽家 鷹南学園卒業生）
◎鈴木桃子（ピアノ伴奏）
◎森松炎山（オーボエ 鷹南学園卒業生）
◎森松風仁（ファゴット 鷹南学園卒業生）
◎沼野真弓（ピアノ 中原小合唱団指導者）

熟議

熟議ってなに？

「熟議」とは
多くの当事者による「熟慮」と「討議」を重ねながら政策を形成していくこと。
政策を形成する際、
①多くの当事者（保護者、教員、地域住民等）が集まって、
②課題について学習・熟慮し、討議することにより、
③互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
④解決策が洗練され、
⑤個々人が納得して自分の役割をはたすようになる、
というプロセスのことを言う。（文部科学省資料より）

大人熟議　10月2日（土）五中体育館

今年度の大人熟議は、中原小・東台小・五中の先生方、そしてCS委員が７グループに分かれて、実施しました。子どもたちのため、学校のために「地域ができること」を考えて付箋に書き出し、お互いの意見を聞きながら用紙に貼り議論をする各グループ。

学校の先生からは、学習・学校支援の声があがりました。地域の方で「ゲストティーチャー」をしてくださる人材募集、CS委員や地域の方々に見守られている・大人の目があることで、子どもたちが安全・安心に過ごせている。

まずは、大人も子どもも顔見知りになることで、声をかけ合える関係作りが大切になります。地域交流や、放課後の『子どもの居場所』についての話もありました。

子ども熟議　10月18日（土）五中図書室

中原小・東台小代表委員、五中生徒会の皆さんで行われました。テーマは「交通安全について」（年間テーマ「公共での振る舞い」から抜粋）です！

五中生が１人、小学校の児童が３～４人で６グループ作り、そこにCS委員がファシリテーターとして見守ります。

短時間でグループごとまとめたものをみんなの前で発表！さすが鷹南生！！みんなの前でハキハキとディスカッションした内容を発表しました。意見の中には、大人のマナーについてのことなども含まれ、交通安全につながるための啓発案など、斬新な意見もあり、大人も考えさせられる一面もありました。

五中生徒会のリーダーシップは素晴らしかったです！放課後の貴重な時間、とても有意義な意見の出し合い・まとめができました。

ＣＳ熟議　1月22日（土）五中図書室（ハイブリッド）

統括 SC 推進員
四柳さん

CS委員対象の熟議は、三鷹市統括SC（スクール・コミュニティ）推進員の四柳さんがファシリテーターとして参加してくださり、ハイブリッド開催となりました。

まずはグループに分かれて、「子どもにとって楽しい学校とは」ということを出し合いました。

そこから、下の４つの未来の目標に分類しました。
- 自ら心身の健康を保ち未来を切り拓く人
- 自分や相手を大切にし、優しさを広げる人
- 自ら課題を見つけ学び、考え、解決する人
- 地域を大切にし、国際社会に目を向ける人

いつもより少し高度な(!?)熟議でCS委員も気持ちを新たにしました。来年度も引き続き、議論していきます。

R3年度 鷹南学園交流活動

学園あいさつ運動

11月1日（月）～5日（金）
6月・3月～各校実施～

【五中・通学路にて】

【東台小東門にて】

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、１学期と３学期は各校でそれぞれ実施、２学期は、五中生が中原小・東台小に出向いて小学生と一緒に元気よくあいさつ運動を行いました。

担当：五中主幹教諭 生活指導担当　大金 泰光

中学校 部活動体験

7月21日（水）
中原小・東台小6年生

【バレーボール部】

【サッカー部】

熱心に６年生の面倒をみる中学生、先輩の教えを素直に受ける６年生の姿などがあり、充実した小・中学生交流の場となりました。また和やかに活動する小・中学生の様子から、鷹南学園で交流できる大切さ、素晴らしさを実感しました。

担当：中原小教諭　小・中一貫コーディネーター　若林 秀和

中学校プレ講座

10月2日（土）
中原小・東台小6年生

小学生の希望に基づき、１２講座に分かれて「中学の授業に対する期待と憧れを抱き、日々の授業に真剣に取り組もうとする態度を育てる」ことを目的として実施しました。小学生たちが積極的に学習に取り組む様子を見て、中学校に進学してくることに期待が膨らむプレ講座でした。

担当：五中教諭　小・中一貫コーディネーター　田畑 圭洋

【美術】明朝体でレタリング

【理科】身近なもので顕微鏡体験

中学校見学

1月18日（火）
中原小・東台小5年生

コロナ禍のため規模を縮小し、校内見学と作品展示見学を行いました。中学生が作成した作品や廊下の掲示物を鑑賞し、その質の高さを肌で感じることで、残りの小学生生活の目標をイメージする良い機会となりました。

担当：東台小教諭　小・中一貫コーディネーター　伊藤 貴之

児童会・生徒会交流

7月・10月《子ども熟議》
中原小・東台小 代表委員会／五中生徒会

三校集まって、「公共での振る舞い」について考えました。五中生を中心に話し合いを進めていき、同じ地域に住む一人ひとりが気持ちよく過ごすための方法や姿勢について考えました。

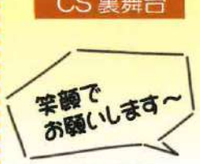
児童・生徒はもちろん、大人も地域の中でどのように生活していけばよいか考えさせられる機会となりました。地域を作る一員として、鷹南の全員が協力していくことがより良いコミュニティを育むことを実感しました。

担当：東台小教諭　代表委員会担当
内海 竜太

【子ども熟議】

今年度、中原小・東台小の３年生を対象として新たな総合単元開発授業がスタートしました。
「学校を知る・地域を知る」をテーマとして、児童が所属する学校・地域の良さを知り、他校・他地域との違いを認識し、さらに大きな範囲での「地域の特性や歴史を学ぶ」ことに繋げることを目的とするものです。

CS 裏舞台



撮影風景！

CS 委員会サポート部では、両校からの依頼を受け、児童たちからの自発的な問いに対し、回答のできる人財・団体に依頼し、それらの方々から、問いへの回答を収めた動画撮影を 12 月上旬に実施しました。

配信後、さらに出てきた問いに対する回答の場として、１月 22 日（土）に、回答をお願いする関係諸団体の方々にお集まりいただき、対面形式での質疑応答をメインとする授業を行いました。両校とも活発な質疑応答が行われ、大変充実した授業になりました。

CS サポート部

３月
中原小・東台小の３年生が、
「自分の学校の良いところ」
を授業内で収録。その後、相手の学校で閲覧実施されました。

こちらの様子はＨＰにて紹介します！

学園評価アンケート２０２１～結果報告書～

鷹南学園　保護者の皆さま
学園評価アンケート 2021 にご協力いただき、ありがとうございました。
皆さまからのご意見・ご要望は次年度の学園・学校づくりに活かしてまいります。

Q&A　内藤和巳学園長に聞く

皆さまからいただいた自由記述では「鷹南スタンダード」「いじめ」「タブレット」「先生方の対応」に関する意見や要望が多く寄せられました。この４つの課題について鷹南学園 内藤和巳学園長にお聞きしました。

【鷹南スタンダード】　※鷹南スタンダードの内容は 右ページの QR コードよりご覧いただけます。

Q　「鷹南スタンダードの存在を知らない」「何のためにあるの？」などの記述が多く見られました。
改めてなぜ鷹南スタンダードという考えがあるのか、教えてください。　設問（5-3）より

Ⓐ 発想の根本は、みんなで子ども本位の教育を進めよう、ということです。三鷹市はその理念のもと、小・中一貫教育に取り組んでいます。小・中一貫した指導観に立って徹底すべき生活習慣や学習習慣を身につけようということです。まず「三鷹学びのスタンダード」が作られ、それをもとに学園の実態に合わせて「鷹南スタンダード」を作り、進化させてきました。当然家庭や地域の協力・連携が重要になります。「個別最適な学び」を進める一方で、学習や生活の基盤としてのスタンダードの役割も重要だと考えています。今後もその重要性を発信し、小・中・家庭・地域と連携した指導を進めていきたいと考えています。

【いじめ】

Q　いじめに対する学校の対応についての集計結果をどう受け止めますか。
また、防止策について聞かせてください。　設問（4-5）より

Ⓐ 肯定的な割合は 65%程度、否定的な割合は 15%程度でした。では 15%の子どもが現在いじめられているかというとそういうことではありません。いじめがあったとき、実際どのような指導が行われているかは、関係した子ども・保護者でないとわからないのが実情でしょう。65%を 100%に近づけるため、「適切な指導」とは何か、「どこまで学校でできるのか」について、大人が大いに議論し連携していく必要を感じます。まずは 15%の方の声を聴くとともに、今苦しんでいる子どもたちを支えることを最優先に取り組んでいきます。

【タブレット】

Q　各学校の保護者ともに「家庭では使用時間を管理することが困難である」の記述が多くありました。
タブレットに関する課題解決に向けての考えを聞かせてください。　設問（4-3）より

Ⓐ 三鷹市ではデジタル社会の到来にあたり、タブレットを文房具の一部として使用できる環境を整えて家庭への持ち帰りを実現しています。ほかの自治体よりかなり恵まれた環境であると考えます。最終的にはすべて子ども任せにしていても、全く問題が起きないデジタル機器の使用者を育てなくてはなりません。そのために市を挙げて「デジタルシチズンシップ教育」に取り組んでいきます。しかし、当面は使用時間制限を設けるべきだと考えています。無制限の使用は脳の発達に悪影響があると言われているからです。家庭と連携してその必要性を子どもにわからせ、守らせていきたいと考えています。

【先生方の対応】

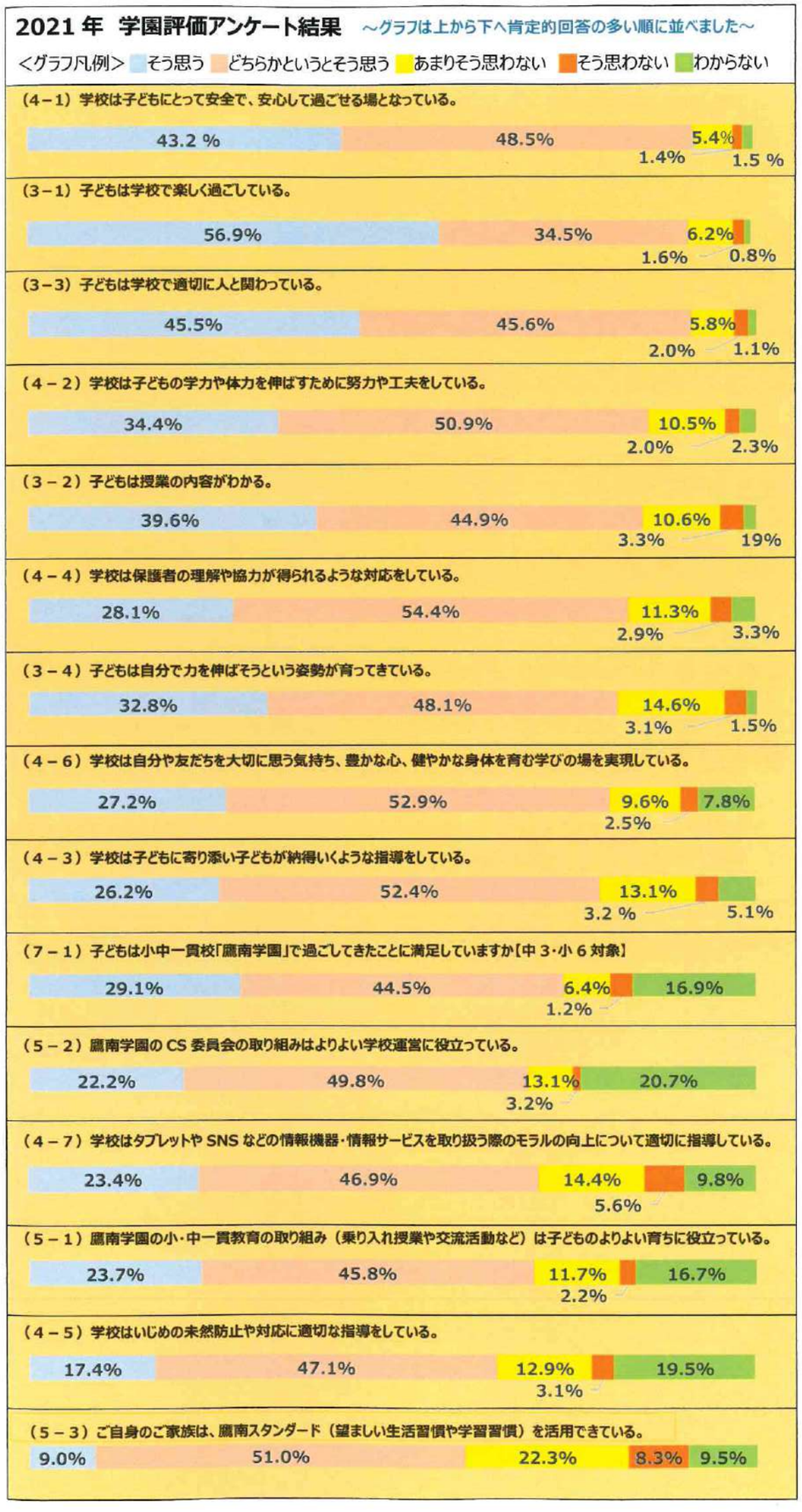
Q　「先生の言葉遣いが荒い」「人格を否定するような発言」「態度に不安を感じる」などの記述があり、気になります。改善に向けた取り組みを聞かせてください。　設問（4-7）より

Ⓐ 該当学年にアンケートをフィードバックし事実を確認した上で指導しています。不適切な言動については正す以外にありません。そういうことがあれば、即時厳正に対処し研修を重ねます。その一方でゆとりをもって指導し、子どもや保護者との信頼関係を築きながら教師としての自覚と誇りを高めていくことができるよう教職員の協働、保護者・地域との協働を進めていきたいと思います。

内藤学園長　ありがとうございました。

2021 年　学園評価アンケート結果　～グラフは上から下へ肯定的回答の多い順に並べました～

<グラフ凡例> そう思う　どちらかというとそう思う　あまりそう思わない　そう思わない　わからない



WEB アンケート実施

回答率
⇒ 71%

学園生徒児童数：1549 人
回答数：1099 人

鷹南スタンダード

⇩

鷹南学園 HP より

【評価部一同より】

皆さまからいただいた貴重なご意見の数々はＣＳ委員会内で拝読いたしました。

また、各学校においても、全教員内へ回覧し全ての意見に目を通していただきました。

コロナ禍で直接的なコミュニケーションが途絶え、誤解を生じたり理解が進まなかったために書かれたような記載も多く見られました。これら保護者の不安が子どもたちに影響することは間違いないので、そのような視点（保護者支援）で、今後の CS 活動や学園、学校の経営に一つでも多くの意見を反映させ協議してまいります。

家庭・学校・地域が一体となり笑顔があふれる学園づくりに取り組んでいきましょう。

＊CS＊ 関連団体

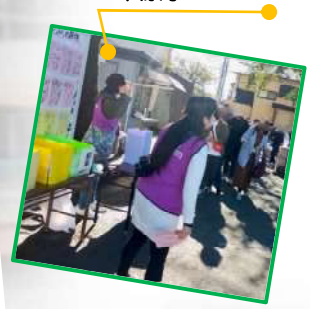
地域こどもクラブ
中原はちのすけクラブ

交通対 中原地区

青少対 中原地区

中原小 オヤジの会

中原小 PTA

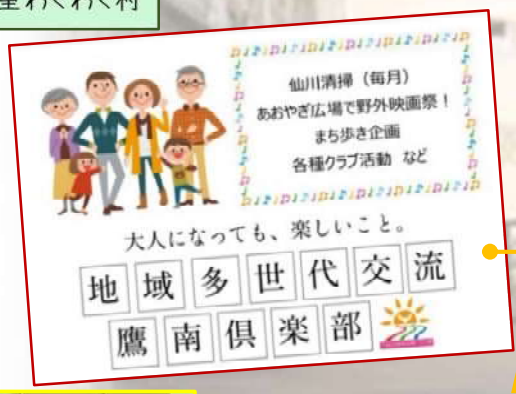


丸池の里
わくわく村

五中 おやじの会

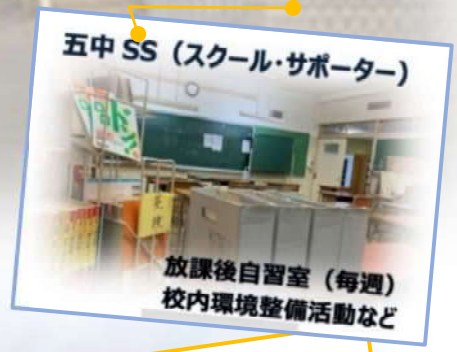
五中 PTA

民生・児童委員



鷹南倶楽部

五中 SS



災害対策連合会

新川中原住民協議会

地域こどもクラブ
東台 くすのきっず

社会福祉協議会

青少対 東台地区

交通対 東台地区

東台小 PTA

東台小 おやじの会

※写真には、他団体が一緒に写っているものもあります